

# 大名みえ子です

〒319-1112 東海村村松 2401-2

電話・FAX 029-284-0761

E-mail toukai@oona-mieko.info

## 各界各層の協力でとりくまれている東海村の認知症 予坊事業

2月10日「認知症予防フォーラム」が開かれる



2月10日、アイヴィルホールで、平成29年度東海村認知症予防フォーラムが開かれ参加してきました。

4部構成のプログラムで、この間のとりくみも含め盛りだくさんのフォーラムでした。那珂医師会会長の小野瀬好良氏が客席から挨拶されましたが、「東海村は認知症予防等のとりくみが大変熱心で、職員の心意気を感じている」旨のお話をされていました。住民としては、こうした行政に感謝したいと思います。

### 一部 若年性認知症とパートナーシップ

●公益社団法人 認知症の人と家族の会 坂本 暁氏 ●茨城県長寿福祉課 小沼弘美氏

### 二部 BPSD のケアを継続するために ～センターから地域へメッセージ～

●栗田病院 院長 安部秀三 医師

### 三部 ワークショップ

○地域で支える～東海病院の役割～

●村立東海病院 管理者 薄井尊信 医師

○地域には力がある ～南台区自治会のチャレンジ～

●自治会長 三上 修 氏

### 四部 パネルディスカッション (参加者全員による)

コーディネーター ルリア記念クリニック院長 古徳 勇人 医師

パネリスト 東海村長 山田 修 氏 村立東海病院 管理者 薄井尊信 医師

栗田病院医師 安部秀三 氏 南台区自治会長 三上 修 氏

茨城県長寿福祉課 小沼弘美 氏

フォーラムの全体を通じて、認知症の症状、症状が出る背景、病状の経過、家族の関わり、専門病院としての課題、地域における課題、村行政の役割、本村における東海病院の役割等がわかるであろう内容になっていました。東海病院の薄井先生のお話で「東海病院が地域医療の要」となるよう奮闘が始まっていることを知り感動しました。

高齢者・介護軽度者・認知症等に関する課題を、市町村行政が中心となって地域で解決することが求められている今の日本においては、家族、心ある病院の医師、心があり見通しが持てる地域、高齢者・介護・認知症等事業の関係者などの奮闘に頼らざるを得ないのが実情です。市町村の状況や地域の状況等により、高齢者の環境は様々にならざるを得ないでしょう。2000年に「高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組み(介護保険)を創設」し、介護の課題を「保険」での扱いにした国は、今度は高齢者を「保険」からいかに排除するかの検討を推進しています。

国が進める地域包括ケアシステムの構築も、完成・これで確立ということはないと言われますが、地方はどこまでがんばればよいのか、私たちの終末は「尊厳」を持って迎えらるのでしょうか。

「個人の尊重と公共の福祉」をうたった日本国憲法の精神は、国には無くなったのでしょうか。個人の尊厳を重視し、公共の福祉の役割にきちんと責任を持つ国を取り戻さなければなりません。